



春の暖かな陽ざしが戻ってきました…
卒園・卒業の季節。
またひとつ階段を上って 成長していく子どもたちを
みんなで見守っていきましょう



福祉のまちづくりのパートナー

清瀬市社会福祉協議会事務局次長
星野 孝彦 氏

みなさん、「社会福祉協議会(社協)」ってご存知ですか? 「名前は聞いたことがある」「何をやっているかよく分からない」とよく言われますが、特に子育て世代の方にとってはあまり身近に感じないかもしれません。

社協は、「地域福祉を推進する」ことを目的に、全国の市町村に設置されている公益的な社会福祉法人です。高齢者、障害者、生活困窮者などの相談支援のほかボランティア活動やささえあいの取り組みづくりを行うなど、地域の方とともに福祉のまちづくりを進めています。でも、この中に「子育て支援」という言葉が入っていませんよね。清瀬ではピッコロさんが広く子育て世代の方の問題や声に応えた事業を展開してきたことで、社協の出る幕が少なくなっているというのが現状です。他の市町村では社協がファミサポ事業や、育児支援の取り組みを行っているところも多いのですが、清瀬の場合は「ピッコロさんがいるから大丈夫」とちょっと甘えてしまっているかもしれません。それでは皆さんも社協を身近に感じませんよね。

しかし、これからは子どもの貧困の問題などがメディアを賑わしているように、公的な支援が行き届きにくい問題に対して、地域の方とともに取り組んでいかなければと考えています。社協にはボランティアセンターという機能もありますが、支援を必要とする人の問題に気づき、共に支える人づくりを強化していく必要があります。そんな取り組みを進める時も、子育て支援や支援を必要としている人と関わってきたノウハウをもつピッコロさんの力などを借りられたいいなと考えています。

支援を必要としている人の問題は、一つの機関や団体だけで対応していくことは困難です。時には辛口のご意見をいただき、時には一緒に取り組みを行ったりの関係を続けていくことができれば嬉しく思います。これからも福祉のまちづくりのパートナーとしてよろしくお願いしますね。

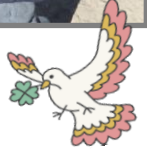


「ピッコロルーム」から

今年は暖冬だったので お散歩や公園に出かけられる日が多く晴れている日は、戸外遊びを楽しんでいます。

お砂場では カップやスプーンを使いご飯を作る子、大きなお山や道に車を走らせる子、最初は砂の感触が苦手ですーと触る子…等 さまざまです。

公園近くにお住まいの方に お会いした時「いつも賑やかにしてすみません」とご挨拶するとにこやかに対応していただき、近隣の方にも 見守られ過ごせていることに 感謝しています。



清瀬市「命の教育フォーラム」に参加して

2月20日（土）アミューホールで開催された清瀬市教育委員会が主催の「命の教育フォーラム」に参加しました。今回で第5回目という。

最初は、清瀬市内の小学校と中学校の教員で構成されている「命と人権教育推進委員」からの報告でした。赤ちゃんの子カラプロジェクトの報告からは、授業の様子のDVDを流したあとに、直接、赤ちゃんやお母さん方との触れ合いから学ぶことがたくさんあり、特に思春期の中学生には大切な授業となっていること。そして、事前・事後の授業をさらに深めていきたいとの話がありました。「赤ちゃんの子カラプロジェクト」は、朝日新聞厚生文化事業団からの助成でピッコロが行った活動が教育委員会の委託事業として、27年度は、ウイズアイさんとピッコロが行っています。市の事業としては3年目となりました。

また、『人権に関する授業～いじめ～』では、「いじめ」をテーマに子ども達が解決について考える授業を行ったそうです。いじめる人の気持ち、いじめられている人の気持ち、そして、周りにいる人たちのことを考えたようです。

後半は、生徒会サミット「STOP! いじめ」と題して、市内の5つの中学校の生徒会会長がパネリストとなり、教育委員会の栗林参事が進行役となり、ディスカッションが行われました。発表にあたり、生徒会長の各学校の生徒さんへのアンケートを元にした話と、役員の子供さんたちが意見を言う場面もありました。

①いじめの現状

②どうしたらなくなる？

③アイデアを実行したら、いじめはなくなる？

最後に、五校が足並みを揃えて同じ理解をすることの大切さから「いじめ撲滅宣言」が生徒会長の皆さんからありました。

進行役の栗林参事さんからは、いじめ根絶につながることを願うと共に、まずは大人がそのお手本にならなければならないとお話でした。

ピッコロから発信された「赤ちゃんの子カラプロジェクト」が、学校の中で受け入れられて着実に育てられていることを嬉しく思いました。来年もこの「命のフォーラム」が催されるとしたら、より多くの保護者の方に来ていただきたいなあと感じました。（事務局/牧野）

フォーラムを終えての帰り道、同じく参加された近所の方との一コマです。

「赤ちゃんの子カラのDVDに感動しました。家の息子の時もあったかしら？本当に中学生のお子さんの笑顔が良かったですね」と立ち話しました。

21歳になる息子さんの後から始まった「赤ちゃんの子カラプロジェクト」中学生という多感な時期に赤ちゃんに触れて、自然の笑顔はどの子も輝いていました。（事務局/村野）



活動への思い

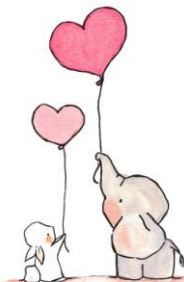
支援者 鉄谷睦美

提供会員として活動を始めて6年になります。最初に2ヶ月の赤ちゃんを保育することになり、その子も4月から小学生です。変わらずご依頼を頂いたことで、共に成長させていただき、続けてこられたことに感謝します。

私には、中学生の長女ひとりの子育て経験しかありません。それも高齢出産でしたので、たくさんの子供を育てたいなと思ってましたが叶わず、娘と一緒に兄弟同様に過ごせる時間が持てれば良いなあと提供会員になりました。

私は絵を描いたり工作したりすることが好きなので、子ども達といろいろなものを制作する時間が持てることができ嬉しいです。こうすれば?とか、こういうのはどう?とか一緒にアイデアを出しあいながら作っています。夢中で作っていると時間が来てしまってもなかなか終われないのが玉にきずですが、良い時間が過ごせることができればと思います。

ご依頼者の皆様には失敗も多々ありご迷惑をおかけすることもりましたが、助けていただいたり、どうすれば良いのか考えさせられることも良い経験になり、今後も頑張っていこうと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



ピッコロルームを利用して 職場復帰!!

利用者 Kさん

昨年の11月から1歳になった次女をピッコロルームに預けて職場復帰をしました。ピッコロルームの存在を知ったのは次女を出産して、長女とつどいの広場に行った時でした。

長女を出産した時、育児ノイローゼになりかけた私は、もっと気軽に預けられるところがあればなぁと思っていました。

その時“預ける”という心境に至ったかは別として。

なので次女は積極的に預けて私はひそかにリフレッシュしようと目論んでいました。そして次女はダウン症なのです。

合併症もなく元気でしたが知的な遅れ、身体的な遅れは出てくることは間違いなく、それでも人並みになってほしいと願う私は日々の中で出来るだけ刺激を与えようと思っていました。フラッシュカードで脳への刺激を、ダウン症の赤ちゃん体操で身体的な刺激を、と当初はいろいろなことをやろうと試みましたが、それをしなければならぬと思うことが私への負担になっていました。

なので預けることで同年代の子たちとの接触でたくさんの刺激を受けてもらおうという名目でやっぱり私のリフレッシュを図りました。

結局、中途では認可保育園に入ることができずにピッコロルームに預けて職場への復帰ができました。こじんまりとアットホームな雰囲気の中でそれぞれのお子さんの状態に合わせてじっくりみていただき、次女は本当にのびのびと過ごしています。

毎日、迎えに行っては保育してくださった方と我が子の成長の話をするのは楽しく温かいひとときです。

一緒に成長を喜んでいただける場所があってよかったと思っています。



《会員状況 2016.3.5 現在》 正会員 56 名・準会員 165 名・賛助会員 16 名(個人 12 名・法人 4 名)

*NPO の活動を維持していくため、引き続き寄付のご協力をお願い致します。

♥賛助会員♥
(法人)



宇都宮病院 / スガハラ印刷

2 月 ~ 3 月の動き	— これからの活動予定 —
○ピッコロ △K-net、つどいの広場	◆ファミサポ HS=ホームスタート HV=ホームビジター
2/1(月)◆サブ/アド 調整会議△つどいの広場調整会議	4/2(土)10:00~○事務局研修会(事務所)
2/3(水)HS東京推進協議会	4/4(月) 9:15~ ◆サブ/アド 調整会議(事務所)
2/6(土)○配偶者暴力(DV) 防止講演会 支援の現場から見たDV	13:30~ △つどいの広場調整会議(元町つどい)
2/7(日)○にっぽん子育て応援団報告会	4/8(金)10:00~ △K-net ひろば(アイレック)
2/8(月)△K-net 運営会議 HS東京ホームスタート協議会主催 普及講演会基調講演: 足見学長	4/11(月) 9:00~△K-net 運営会議(事務所)
2/9(火) ◆3~4カ月児健診(ファミサポ 説明)	4/12(火)12:30~◆3~4カ月児健診(ファミサポ 説明・健康センター)
2/12(金)△K-net ひろば	4/25(月) 9:45~ ○定例会(セミナーハウス)
2/13(土)○子どもの発達支援・交流センター公開講座 「大人になるといこと」	5/2(月) 9:15~ ◆サブアド調整会議(事務所)
2/17(水)◆提供会員スキルアップ研修会	5/7(土)13:00~ ○会計監査(事務所)
2/19(金)◆女子医大提供会員スキルアップ研修会	5/9(月)13:00~ △つどい調整会議(元町つどい)
2/20(土)○「命の教育フォーラム」	5/13(金)10:00~△K-net ひろば(アイレック)
2/22(月)△職場復帰ママのおしゃべり会	○第 13 回定期総会資料送付予定
2/23(火)○定例会/HSこうとう普及講演会	5/17(火)12:30~◆3~4カ月児健診(ファミサポ 説明・健康センター)
2/25(木)△第2回子育て協働セミナー 「地域で育む 「新しい」 子育て支援のカたち」	5/20(金)18:00~○第 13 回定期総会(アイレック)
2/29(月)○「多世代でささえる子育て講演会」	総会は正会員で成立しますが、準会員の方や賛助会員の方は傍聴できません。 準備の関係がありますので傍聴を希望される方は、事務所へご連絡下さい。
3/5(土) ○まちを元気にするプロデュースを学ぶⅦ	
3/7(月) ◆サブアド調整会議 △「トーク&トーク ひろばママ(利用者)のおしゃべり会」	
3/8(火) ◆3~4カ月児健診(ファミサポ 説明)	
3/11(金)△K-net ひろば	
3/14(月)△K-net 運営会議/△つどい調整会議	
3/22(火)○正会員のつどい(アイレック)	
3/25(金)○理事会	
3/28(月)HS産前サポート試行事業報告会	



《編集後記》

平成二十八年年明けからあつと
いつ間の三月。三月は巣立ちの月。
ピッコロルームは、もうすぐ二年
目となり、昨年とは違う賑やかさ
も出てきている。定期での預かりで
はないため、迎えの時間がまちま
ちの中、近くの公園へ出かけたり、
少し足を延ばして外へ出る事もあ
り、楽しい時間になるような配慮
はもちろん、大切にしている。

年度途中から職場復帰された方
のお子さんが、毎日のように来てい
たが、四月からは他の園が決まっ
ている。寂しさもあるが、お子さん
の成長は嬉しい。

ファミサポの支援者のスキルア
ップ研修会でのことだが、支援し
ていて楽しいことは?」のテーマで
話した時、孫が近くにいないから
孫のようで」と言う。また あなた
が来てくれたから仕事ができた、
ありがとうの一言で心がいっぱい
いになることを話してくれた。困
ったことのテーマよりも、楽しいこと
のテーマの方が盛り上がり、また、
支援に入っていない方も、とても
元気になった。自分も支援してみ
たいと言った感想をいただいた。

四月。新たなスタート!